

2 学校教育方針

(1) 学校経営について

<教育目標>

笑顔の花を咲かせよう

生涯を通じて、生き生きと学び続けることは、より豊かな人生を送るためにとても大切です。学習の場であれ、生活の場であれ、常に自主性・積極性を元気いっぱいの笑顔で発揮できることを目指します。

<めざす像>

めざす子供像

元 気

(明るい、たくましい、
あきらめない)

笑 顔

(仲良く、助け合う、
感謝の心をもつ)

やる気

(進んで学ぶ、工夫する、
学ぶ習慣を身に付けている)

めざす学校像

明るく健康で活気ある学校
心豊かで協力し合う学校
学力向上をめざす学校

(子供と子供のつながり)
(子供と職員とのつながり)
(同僚同士のつながり)
(学校と地域のつながり)
(外国の人とのつながり)

めざす教職員像

子供を主語にして考える教職員
協力し認め合いながら実践していく教職員
何ができただか、何がわかったかを実感させる教職員
ワークライフバランスが充実した教職員
児童・地域に寄り添い、信頼される教職員

<育てたい力>

- ① 社会生活に必要なマナー
- ② コミュニケーション能力
- ③ 問題解決能力
- ④ 非認知能力
- ⑤ 主体的に学ぶ姿勢

<令和8年度の重点目標>

「多文化共生の推進」

<学校経営の重点項目と具体策>

① 学力・体力の向上

- 「わかった」「できた」を感じさせる授業の工夫 (主体的・対話的で深い学びの充実)
- I C Tを活用した授業
- 学習規律の確立・基礎基本の定着
 - ・始める前の号令 「立腰 黙想 礼」
 - ・はげみタイムの充実 学力向上プランに基づいた実践
 - ・学びの習慣化 (家庭学習の習慣化と充実)
- 体力向上の実践
 - ・体力向上アクションプランに基づいた実践

② 基本的な生活の習慣の定着

- 積極的な生徒指導 (全ての教育活動)
 - ・公共物、私物の丁寧な取り扱い
 - ・自己決定・自己存在感・自己有用感・共感的な人間関係

- ・「さかもとっ子のきまり」の徹底
- ・「あ・は・は」運動の推進

③ 特別支援教育の充実

- 校内支援体制の充実
 - ・児童理解研修で児童理解と具体的な指導方法の共通理解、研修会参加や外部機関との連携
- 発達障害児への対応
 - ・該当児童の保護者への対応、関係機関との連携、教育相談、現職教育、掲示物の配慮
- 交流学級との関わり方（時間割の変更を確実に伝達）
 - ・幼・保・小及び小・中連携（情報交換と支援体制の共通理解） 院内学級の理解

④ 国際理解教育の充実

- 日本国籍児童と外国籍児童との双方向の働きかけ
- 外国籍児童への自立支援
- ふるさと長崎を実感できる体験活動（平和、歴史、自然、人物など）

⑤ 道徳教育の推進

- 所属感や充実感のある学級経営の実践
- 道徳の時間の充実（問題解決的な学習、体験的な活動などの取り組みの工夫）

(2) 長崎市第5次総合計画（第5次教育振興基本計画）の具体化

G1「新たな時代を生き抜く子どもを育みます」

G1-1「確かな学力の向上」

- 学習の習慣化（学校と家庭との連携）の徹底とはげみタイムの充実
- 児童の実態を把握した 課題解決のための校内研修の充実
- 課題改善への「こだわり」と「確かめ」の重視
- 問題解決的学習を重視した授業づくり
- 国際理解教育の充実
- ICT機器の普段使い

G1-2「健やかな心と体の育成」

- 継続的な体力づくり
 - ・朝のランニング、全校体育（ランニング、短縄、長縄など）
- 人権教育の日常化
 - ・一人一人を大切にした言動
- 食育の計画的な取組
 - ・食育に関する情報提供と協力体制
- 環境教育の推進
 - ・自然環境の整備（掲示物、命を育む飼育・栽培活動の継続的な取組）
 - ・美しい環境（ごみを落とさない、ごみを拾う、整理整頓、掃除用具をきちんと並べる）

G1-3「家庭・学校・地域の連携による教育の充実」

- 地域に学び、地域に感謝し、地域に還元できる学校（地域や幼保小中の連携）
- ふるさと長崎を実感できる体験活動（「平和ウオーク」、「浦上さるく」など）
- 長崎独自のモデルカリキュラムに即した国際理解教育の推進

G1-4「安全・安心に学べる教育環境の整備」

- 命を守り、命を育み、命を大切にする教育
 - ・予兆・予見（小さなサイン）にも細心の注意。
 - ・命を守る指導（いじめ、廊下歩行や交通指導、8時までの登校、安全点検）
- 心と体の病や怪我への予防と手当て
 - ・朝の子供との出会いや子どもとのコミュニケーションを通して
 - ・病気や怪我に関する保健室からの確実な情報発信
 - ・施設や設備の確実な安全点検